



茅ヶ崎徳洲会病院 健康診断・人間ドックからのお知らせです!

ホームページから市民健診などのご予約が出来るようになりました!
電話予約は大変混み合いますのでインターネット予約をお勧めいたします。



ご予約方法
茅ヶ崎徳洲会病院ホームページトップページにある下記バナーをクリックし、画面の指示にしたがって入力して下さい。
スマートフォンの方は左上のQRコードからトップページにアクセス可能です。

T-POINTが貯まります
人間ドック
オンライン予約

人間ドック
(健康保険組合)
オンライン予約
Health screening

生活習慣病健診
(協会けんぽ)
オンライン予約
Health screening

茅ヶ崎市市民健診
オンライン予約

今まで通りお電話でのご予約、
お問合せも受け付けております。

健康診断・人間ドック担当(直通)
電話:0467-89-2555
FAX:0467-89-2556
お問い合わせ時間:
月~土 13:30~17:00(祝日を除く)

ワンコイン健診 ■1コース 500円(複数コース選択可能) ■実施時間 14:00~16:00(平日)

受付時間 13:30~17:00(日・祝日除く)

- 健康診断の結果で「再検査」の項目があった方
- 生活習慣を改善してその効果を確認したい方
- 外来受診・健康診断をする時間がなかなかとれない方
- 気軽に健康に関する数値を確かめたい方

コースを選択して気になる項目の血液検査を行うことができます。通常の健康診断とは違い、医師による結果説明や相談は行いませんが、次の項目からお気軽に検査をすることができます。検査結果は、採血後60分ほどお待ちいただいて当日お渡します。

茅ヶ崎徳洲会病院 健康診断・人間ドック担当

ご予約・お問い合わせは ☎0467-89-2555
ご予約をおすすめします。予約時はコース名をお伝えください。

コース	検査項目
①貧血コース	■貧血の有無がわかります 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット
②脂質コース	■血液中の脂質異常を調べます 中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、L/H比、nonHDL-C
③血糖コース	■糖尿病の指標になる検査です。※空腹時の検査をおすすめします 空腹時血糖、HbA1c
④肝機能コース	■肝障害の有無を調べます AST、ALT、γ-GTP
⑤腎機能コース	■腎機能を調べます クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、クロール
⑥痛風コース	■痛風のときに上昇する血液中の尿酸値を調べます 尿酸、尿素窒素、クレアチニン
⑦尿コース	■基本的な尿検査です 尿タンパク、尿糖、尿潜血
⑧体脂肪コース	■肥満度を調べます 体脂肪率、身長、体重、BMI、血圧

新着任のお知らせ

藤原 豪
【泌尿器科医長】



湘南には初めて来ました。少しでも皆様のお役に立てるよう日々の診療と自己研鑽に努めます。微力ではありますが、患者様の人生に寄り添えるような医師を目指しています。よろしくお願いたします。

最終学歴：
島根大学医学部医学科卒

所属学会・研究会：
日本泌尿器科学会

編集後記



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。今年はいよいよ東京オリンピックが開催されますね。抽選に外れてしまったのでテレビでじっくり観戦する予定です。個人的には昔バドミントンをやっていたのでバドミントンに注目しています。十二支の最初となる子年、何か新しいことにチャレンジして成長したいと思います。

医局秘書 伊藤

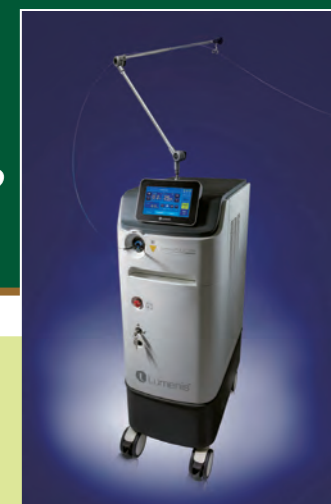


えぼしめ〜る vol.16

医療法人徳洲会
茅ヶ崎徳洲会病院
Chigasaki Tokushukai Hospital



腎・尿管結石に対する軟性尿管鏡を用いた レーザー治療導入 【経尿道的結石碎石術 (TUL)】



尿路結石症の治療法の選択

一般的には、4 mm以下の結石は自然に排石(おしっこと一緒に出る)される可能性が高いので、排石を促す薬物治療を、4 mmより大きい結石の場合には、体外衝撃波碎石術(ESWL)や内視鏡治療が選択されます。治療方法は、病気の状態(結

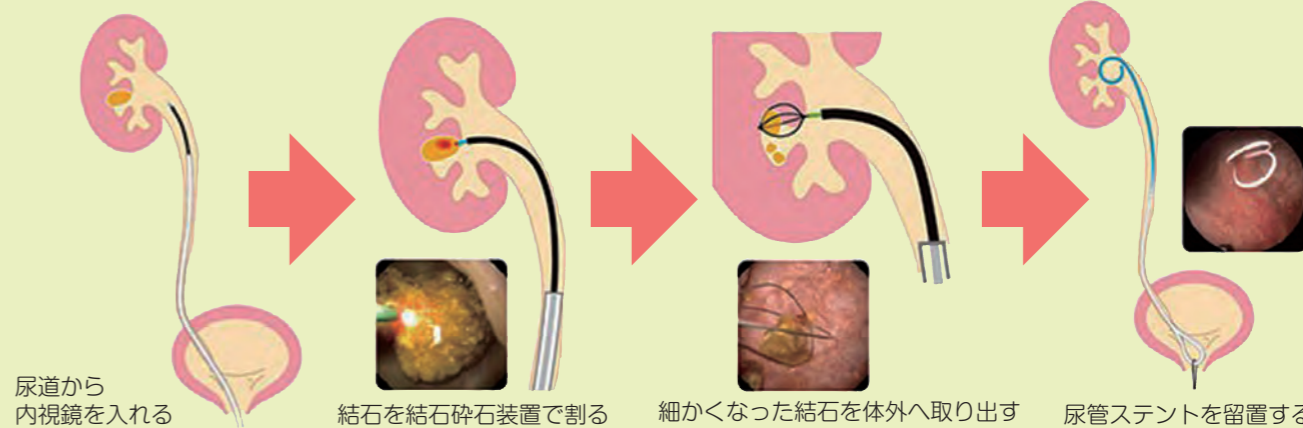
石の位置、大きさなど)や患者さまの状況により変わります。また、複数の方法を組み合わせて行われる場合もあります。担当医師とご相談ください。

経尿道的結石碎石術 (TUL) とは?

尿道から細い内視鏡を入れ、尿管または腎臓の結石を、レーザーや空気衝撃波などの碎石装置で碎石し、手術中に取り出します。内視鏡は硬性内視

鏡か軟性内視鏡のいずれかで、治療部位により選択されます。入院期間は数日~1週間程度、治療効果の高い手術として近年増加しています。

経尿道的結石碎石術 (TUL) の手順 (内視鏡下)



体外衝撃波碎石術 (ESWL) とは?

体の外から衝撃波を当て結石を割り、尿と一緒に排石させます。外来治療も可能で、入院の場合でも1~2日程度、高齢の患者さまには負担の少ない治療法です。反面、排石までには時間が

かります。結石の場所や大きさ、硬さによっては内視鏡治療を選択した方が、効果が高い場合もあります。

逆流性食道炎やピロリ菌は、 胃がんのリスクを高めます。

診療科／内科
所属学会・資格／
日本消化器内視鏡学会専門医、
日本内科学会認定医、難病指定医

内科部長 **曾根 辰巳**
Tatsumi Sone



家族ぐるみでお越しいただける 診療を目指しています。

私が医師を志したのは、小児科の医師をしていた父の存在があったからです。もともと私は高校時代から教師を目指していました。実は父も数学科の教師を目指し、その後、医療の道へ入ったという経緯があったのです。父の助言を受け、私も医師を目指すようになりました。入局してからは血液内科で内視鏡の技術を学び、消化器内科を専門にして 20 年ほどになります。茅ヶ崎徳洲会病院では一般内科の中で、消化器内科も担当しています。私が目指しているのは、家族ぐるみでお越しいただけるような診療です。患者様と信頼関係を築き、患者様一人ひとりに合ったコミュニケーションを心掛けています。一人でも多くの患者様に頼りにしていただけるよう、日々診療に臨んでいます。



昨今では、逆流性食道炎にかかる患者様が 多く見受けられます。

逆流性食道炎は胃酸が食道に逆流してしまう病気です。胃の粘膜は胃酸に耐えられますが、食道は胃酸に耐えることができません。胃酸が逆流することで食道の粘膜が刺激されてしまうのです。逆流性食道炎の原因は、ストレスや運動不足、アルコールや喫煙、食生活などさまざま。最近では、割と若い方も増えてきました。生活習慣や食生活だけでなく、スマートフォンを見るために屈んだり、猫背などの姿勢の悪い状態が続くと腹圧がかかり、胃酸が逆流しやすくなります。逆流性食道炎の症状としては、口の中が酸っぱくなる、胸やけ、げっぷ、食事後の胸の痛みというものですが、中には口が臭くなったり、咳が出るという症状も。胃酸が気管を刺激して咳として出てくるのですが、症状だけ見て呼吸器内科や耳鼻科へ行かれる患者様もいらっしゃいます。咳が続き、咳止めを飲んでも止まらないようでしたら、ぜひ内科を受診してください。

逆流性食道炎を治すためには胃酸を抑える薬を飲むだけでなく、日常生活で予防することが大切です。その中でも、食事の内容や仕方を見直していただきたいと思っています。例えば、「高脂肪の食事ではなく消化の良い食事を選ぶ」「決まった時間に食事をする」「腹八分目にする」「最低でも 20 分かけて食べる」「食後 30 分はゆっくり過ごす」「夕食は軽く済ませ、寝る 2 時間前には食事をしない」などがポイントになります。

ピロリ菌も逆流性食道炎の 原因の一つです。

ピロリ菌は親から子へ口移しで食べ物を与えたり、衛生状態が悪く上下水道が整備されていない飲料水を飲むことで感染します。免疫力の弱い乳幼児期にかかることがほとんどで、ピロリ菌に感染しても症状は数十年後に出てくることが多く、内視鏡検査や呼気検査、尿や便、血液による検査などをしない限り分かりません。ピロリ菌にかかると、胃の粘膜の防御力が低下し、消化が悪くなるために胃の中に酸が停滞して、逆流性食道炎を起こすことがあります。また逆にピロリ菌を除菌することで、今まで抑えられていた胃酸が通常に分泌されるようになり、逆流性食道炎を併発することもあるため注意が必要です。



逆流性食道炎もピロリ菌も、胃がんのリスクにつながります。今は ABC 検診という血液検査でピロリ菌に対する抗体の有無や、胃粘膜の炎症度合いを測定する検査を通じ、胃がん発生のリスクを把握することができます。胃がん発生の危険性が高い方は頻回に検査したほうが良いですし、危険性が低い方は頻回に検査しなくても良い、という傾向が分かるのです。とはいえ、ピロリ菌がいないわけではないので、定期的に胃の検査はすべきでしょう。茅ヶ崎徳洲会病院では効率的に検査ができ、時間がかからずスムーズに進めることができます。

ノロウイルスにかかった際は、 脱水にご注意ください。

特に秋から冬にかけては、ノロウイルスの流行も気を付けなければいけません。何よりも“かからないこと”が大切です。予防のために手洗いとうがいほこまめに行ないましょう。万が一、ノロウイルスにかかってしまった場合は、できるだけ外出しないことが得策です。2～3日もすれば、症状も治まってくると思います。

下痢や嘔吐が続く際には、脱水に気を付けましょう。脱水は臓器障害を起こすこともあり、非常に危険です。水やお茶、ジュースは体に吸収されず外に出してしまう

ため、ブドウ糖が入っているスポーツドリンクや、経口補水液が効果的です。水分が取れない場合や、あまりにも症状が辛い場合は病院へ。点滴などで脱水症状を回避することができます。また家族の方がかかってしまったら、二次感染を防ぐことも重要です。素手で吐物に触るのは危険。次亜塩素酸を使って消毒するようにしてください。

ご自身で病状を診断されるより、 病院を受診するほうが確実です。

本やインターネットでさまざまな情報が溢れている昨今、「私はこの病気だ」と断定されて来院される患者様も増えています。病状チェックリストを見ると、不思議と自分に合っているような気がしてしまうものですよね。しかし、病院で検査されると、想定されていた病気とは異なる診断となるケースが多いです。例えば、「胃潰瘍だと思うから内視鏡で診てください」と来院された患者様が、実際は胆石や胆嚢炎だったということもあります。

また「こんな軽い症状で病院に行ってもいいのだろうか」と悩まれる方も多いのですが、病院に来たからといって必ず治療をするわけではなく、治療すべきかを判断するのも病院の役目ですので、悩まれる前に気軽にご相談ください。私たちはこれからも患者様と一緒に考え、患者様が納得のできる検査・治療を進められるように努力していきたいと考えています。

